

Autodesk Showcase 2013 SP1 Readme

Autodesk® Showcase® は、建築家やデザイナー、エンジニア、マーケティングなど、プロのユーザ向けに開発された使いやすいプレゼンテーションおよびデザインレビューのためのツールです。Showcase 2013 を導入すると、3D CAD モデルを瞬時にインタラクティブなウォークスルーおよびプレゼンテーションに変換し、同僚やチームメンバー、顧客との間で、見栄えやデザインの選択肢を簡単に評価することができます。

この Readme では、Autodesk Showcase 2013 の既知の制限事項と解決された問題について説明します。本リリースをインストールする前に、このドキュメント全体を読むことを強くお勧めします。参照用として、この Readme をハード ディスクに保存するか印刷してください。

その他の重要な注意事項や問題の回避策については、<http://www.autodesk.com/showcase-support-jpn> にアクセスして、Showcase のサポート FAQ ナレッジ ベースを参照してください。

目次

インストールに関する注意事項	1
その他の情報の参照先	1
Service Pack 1 で解決された問題	2
機能の制限事項と注意事項	3

インストールに関する注意事項

オートデスク製品全般および Showcase 固有のインストール情報については、<http://www.autodesk.com/showcase-faq-2013-jpn> にアクセスして、Showcase のインストールの概要と FAQ を参照してください。

重要: Autodesk Showcase Professional をインストールする場合、または Kiosk (プレゼンター) モードで Showcase を実行する場合は、Showcase の『インストールの概要と FAQ』の、「Showcase インストール オプション」の中の次のセクションを参照してください。

- Showcase Professional のインストール
- Kiosk モードでの Showcase の実行

その他の情報の参照先

動作環境については、次のページを参照してください。

- <http://www.autodesk.com/showcase-readme-2013-jpn>

Showcase Learning Path については、次を参照してください。

- <http://www.autodesk.com/showcase-learningpath>(英語)

2013 での新機能の要約については、オンライン ヘルプの次のセクションを参照してください。

- www.autodesk.com/showcase-help-2013-jpn-whatsnew

この Readme の更新版については、次を参照してください。

- <http://www.autodesk.com/showcase-readme-2013-jpn>

Service Pack 1 で解決された問題

Autodesk Showcase 2013 の今回のリリース(SP1)では、次の問題が修正されました。

- Showcase Professional および DirectConnect に影響するライセンス関連の問題がある。(392844)
- ディレクショナル ライトの[既定の位置]ボタンが適切に機能しない。(392764)
- 一部の DX9 グラフィック カードで Showcase が動作しなくなる場合がある。(392071)
- 環境を変更すると、レイトレーシングが不安定になる可能性がある。(392433)
- レイトレーシングにおいて、事前に計算されたアンビエント シャドウに関する問題がある。(392086)
- レイトレーシングしたイメージのハイライト部に輝点が現れる。(392467)
- Autodesk マテリアルに関するいくつかの問題がある。(392539)
- レイトレーシングにおいて、表示されるガラス マテリアルが明るすぎる場合がある。(392043)
- マテリアルを扱うインタフェースにいくつかの問題がある。(392531)
- カスタムの反射を使用すると、テクスチャの移動を停止できない。(392462)
- 環境の保存に関する各種の問題がある。たとえば、バックプレート環境でバックグラウンドの輝度が保存されない。(392726, 392526)
- 環境テクスチャに関するいくつかの問題がある。(392405)
- [環境]の[ライティングおよびバックグラウンド]ウィンドウのパフォーマンスが、期待するほど速くない。(391466)
- 環境を削除した後で再度適用すると、表示上の問題が発生する。(392465)
- 旧バージョンの Showcase のシーン環境に対応するために、いくつかの改良が加えられた。(392633)
- 環境の名前を変更すると、Showcase が突然停止する場合がある。(392547)
- タスク UI がフレーム レートとリフレッシュ レートを低下させる場合がある。(392519)
- 反射マップの使用時、ハードウェア モードで誤って表示される場合がある。(392118)
- ハードウェア レンダリングで透過が正しく再現されない場合がある。(392159)
- Autodesk 360 へのパブリッシュに関するいくつかの問題がある。(392985)

- 別の Autodesk 製品から Autodesk 360 にサインインするときに、いくつかの問題が発生する。(392140)
- 安定性に関する Autodesk 360 向けの修正が必要。(392663, 392515)
- Autodesk 360 での Showcase ファイルの関連付けに関する問題がある。(392848)
- ある特定の環境でムービーをパブリッシュすると、Showcase の実行が停止する場合がある。(392571)
- レイトレーシングでパブリッシュしたムービーに、レンダリング イメージのものよりも多くのビジュアル ノイズが含まれる場合がある。(392505)
- 日本語を含むアカウントを使用すると、動作が不安定になる場合がある。(392676)
- 日本語のオペレーティング システムで DirectConnect が動作しない場合がある。(392730)
- 英字以外の文字を含むファイルの読み込みに失敗する場合がある。(355473)
- ショットの再生ボタンを押した後、予測しない動作をする。(344763)

機能の制限事項と注意事項

Autodesk Showcase 2013 の既知の機能の制限事項と注意事項は、次のとおりです。

パブリッシュ

- パブリッシュされるイメージに環境が含まれない。回避策: イメージのシーケンスとしてムービーをパブリッシュします。(390817)
- 1900x1200 以上の解像度での HTML5 Web プレゼンテーションが、iPad で適切に表示されない。(391898)

マテリアル表示

- Autodesk のメタル マテリアルの外観がレイトレーシングおよびハードウェア レンダリング間で統一されない。(391810)
- カスタムの反射マップによって、マテリアルが昼間のシーンで非常に黒っぽく、あるいは夜のシーンで非常に白っぽく表示されることがある。回避策: グラフィック エディタを使用してマップを修正します。(392126)
- レイトレーシングでの透明色が不正確になる場合がある。回避策: マテリアル プロパティ内で **[透明ハイライトをブロックする]**を選択します。(392157)
- X-Rite マテリアルが、2013 の Showcase 環境に適切にキャリブレートされない場合がある。
- バージョン 2012 使用される Showcase マテリアルには、次のマテリアルを含めて、2013 で正しく表示されないものがある。
 - o Car Paint
 - o すべての Metallic マテリアル
 - o すべての Dark マテリアル
 - o Orange Burnt
 - o Lacquers

(392912)

レンダリング

- シーンを閉じる時に[パフォーマンスおよび品質]ウィンドウ内のハードウェア アンチエイリアス設定が保存されない。回避策: シーンを再度開いた時に再設定します。(392374)
- 数時間のレンダリング後でも、グローバル イルミネーションが設定されたいくつかのシーンにおいてノイズが発生する場合があります。(391984)

シャドウ

- 中国語バージョンの Showcase のみ。アンビエント シャドウのベイク処理中に、Showcase が予期せずに停止する場合があります。(392766)
- 高度なライティング モード(グローバル イルミネーション)において、地面へのアンビエント シャドウがレイトレースされない。(392237)
- レイトレーシングにおいて、オブジェクトのテッセレーションによってはシャドウが粗くなりすぎる場合があります。テッセレーションの度合いの低いオブジェクトの場合、シャドウの中にステッピングエフェクトが現れる場合があります。回避策: テッセレーションのレベルを上げてオブジェクトを再度テッセレートします(FBX モデルでは実行できません)。(391896)

カメラおよびライティングの背景プロパティを備えた NPR ビジュアル スタイル

トゥーン色、フラット カラーなどのノンフォトリアリスティック(NPR)のビジュアル スタイルは以下による影響を受けない。

- [ライティング環境とバックグラウンドのプロパティ]ウィンドウの[ライト]タブの設定
- [カメラ プロパティ]ウィンドウの補正、ハイライト、ミッドトーン、シャドウおよび彩度。

環境

- 16 ビットの TIFF イメージをバックプレートに使用すると、レンダリングが不正確になる場合があります。回避策: イメージをイメージ エディタで 32 ビットに変換します。(392232)
- スライド間で環境が切り替わらない場合があります(設定されている場合)。回避策: スライドをイメージとして保存し、サードパーティ製ソフトウェアを使用して、ムービーにコンパイルします。
- 法線マップを環境に適用している場合、レイトレーシングがバンプを正しくレンダリングしない場合があります。(392260)

カスタム環境との後方互換性

Showcase 2012 のカスタム環境は、Showcase 2013 では部分的にしか開くことができないか、あるいはまったく開くことができません。このセクションではこれらの 2 つの状況について説明します。

カスタム ライブラリの環境はインポートされない

Showcase 2012 で環境を作成すると、その環境は既定ではカスタムの環境ライブラリに格納されます。これらのライブラリ(カスタムであるかどうかに関わらず)の環境は Showcase 2013 に移行することは

できません。このことは、環境を 2013 で開いているシーンに適用する場合も同様です。Showcase 2013 は、2012 の環境を開くことができないというレポートを出力します。

これに対する回避策は、Showcase 2013 で環境を作成しなおすというものです。環境には、Showcase 2012 と同じ名前を付けるようにしてください。その後、Showcase 2013 で 古いシーンを開くと、新しい環境を見つけることができます。

カスタム環境がカスタム ライブラリに格納されていない場合、部分的にしかインポートされない

2012 のジェネリック環境を変更した場合、そのプロパティは、カスタムの環境ライブラリに格納されていないと部分的にしか Showcase 2013 にインポートされません。

2013 にマイグレートされないプロパティ:

- ライティングの変更 (イメージベースのライティング マップ)
- 露出とカラー処理の値

Autodesk, FBX, Revit, and Showcase are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product and services offerings, and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.

© 2012 Autodesk, Inc. All rights reserved.